



2014-2015年度

広島北

ロータリークラブ週報



Rotary Club of Hiroshima North  
2014年8月28日発行 Vol. 1403

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン 氏  
国際ロータリーテーマ

LIGHT UP ROTARY  
ロータリーに輝きを

■会長 河本 浩一 ■幹事 合田 尚義  
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530  
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/  
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会 2014年8月28日(木) 第2192回  
ロータリーソング 「手に手つないで」  
来客紹介 ローラー家族親睦委員会  
会長時間  
幹事報告  
委員会・同好会報告  
ニコニコ箱  
卓話時間 『新会員卓話』 岡本 勝幸 会員

前例報告 2014年8月21日(木) 第2191回

黙祷  
ロータリーソング 「われらの生業」  
来客紹介 ローラー家族親睦委員会  
連続出席表彰  
寄付表彰  
会長時間  
幹事報告  
委員会・同好会報告  
ニコニコ箱  
卓話時間 『公式訪問に際して』  
国際ロータリー第2710地区  
ガバナー 金子 克也 氏

連続出席表彰



6年 上田会員  
6年 水野会員  
  
18年 山下(江)会員  
(ご欠席)

おめでとうございます！

米山記念奨学会寄付表彰



第2回米山功労者  
菅 雅則 会員  
  
第1回米山功労者  
上河内裕司 会員

会長時間

会長 河本 浩一

まず20日未明、広島安佐南・北両地区を襲った線状降水帯による集中豪雨で甚大な土砂災害がありました。ここに被災され方にお見舞い申し上げますと同時に亡くなられた方には心よりご冥福をお祈りします。なお、姉妹クラブの京都伏見RCからは、災害見舞いの書状を受け取っていますので、ご披露申し上げます。また一瀬会長からは別途電話も頂き、ロータリーの友情に丁寧なお礼をしておきました。さて、本日は金子克也ガバナーを迎えての公式訪問例会です。金子克也ガバナー、藪田随行幹事、高原ガバナー補佐、栗屋ガバナー補佐幹事、ようこそ当クラブの例会にお越し下さり、会員一同ご歓迎申し上げますと同時に厚くお礼申し上げます。金子ガバナーがPETSで強調されていたのは、先ず第一にRIテーマをよく理解することから始めなければならない、とおっしゃっていたことです。今年の1月13日からサンディエゴでロータリー国際会議が開催され、「Light Up Rotary」という今年度のRIのテーマを、金子ガバナーの直筆による1月14日消印エメールで送っていただきました。RIのテーマへの金子ガバナーの篤い思いが、直に伝わってきた感激が昨日のように思い出されます。そしてその意味するところは、「私たちは、あなたが一本のロソクに火を灯し、力を合わせれば、世界を光りで輝かせることができる」のだ、と理解したのです。思いますに、人という字は、一片と一片が支え合って作られているように、ロータリー一人一人が他人を思いやり、支え合う輪を広げてゆけば、世界中に友愛の人の輪が繋がってゆくことは間違いありません。ところで金子ガバナーは、仲良く奉仕を学び、ロータリーを楽しもう、を信条とされています。私たちがその信条を踏まえてロータリーを大いに勉強し、真のロータリーを目指してゆきたく存じます。例会終了後引き続きフォーラムが開催されますので、「ディスカバー・ロータリー」と銘打ってガバナーを交えて会員一同大いに勉強し、名実ともに公式訪問が意義あるものしたく存じます。何卒よしくお願い申し上げます、会長の時間を終わります。

急啓

御地での思いがけない被害、ニュースで知るところとなり、貴クラブの皆さまの被害の程を案じております。遠方ゆえ、詳しい状況がわからず、今は皆さまのご無事をただお祈りするばかりです。皆さまにおかれましてはご自愛されますよう切にお祈り申し上げます。甚だ略儀ではありますが、書中をもちましてお見舞い申し上げます。 草々

2014年8月20日

京都伏見ロータリークラブ  
会長 一瀬 倫  
幹事 人見 康裕

幹事報告

幹事 合田

- \*例会終了後、フォーラムを開催いたします。
- \*公式訪問冊子 (BOX配布物)
- \*手帳版会員名簿 (BOX配布物)

委員会報告

姉妹クラブ友好委員会 越智副委員長

9月25日(木)に京都伏見RCをお迎えして「第26回姉妹クラブ友好提携継続調印式」を開催します。今回は例会を夜間に変更して頂き、まず江田島に行き、「海上自衛隊第1術科学校」を訪問します。

例会(調印式)は18時よりホテルグランヴィア広島において開催します。懇親会も行いますので、皆様、多数ご参加下さい。

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【ご来賓出宝】

ガバナー 金子克也様より★

ガバナー補佐 高原宏之様より☆

【自主出宝】

河本会員・中山会員・合田会員・二井本会員・佐々木会員

金子ガバナー様、藪田随幹事様、高原ガバナー補佐様、栗屋AG幹事様、本日はご多忙の中、当クラブへの公式訪問を賜り、誠にありがとうございます。卓話並びにフォーラムともよろしくお願ひ申し上げます。

榎殿会員 金子ガバナー、心より歓迎いたします。

上田会員 入会して6年になりました。これからもよろしくお願ひ致します。

久保田会員 安佐南区に住んでおりますので、昨日朝から県内外の方々からご心配の電話を頂きました。感謝致します。幸い私方は、現場より1km位離れており被害はありませんでした。これで収束することを願っております。

畑会員 本日は誕生日のお祝いをして頂きありがとうございます。また一年よろしくお願ひします。

山本(忠)会員 当クラブの皆様、野球同好会の皆様、この度私の母校広陵高校野球部が甲子園大会出場にあたり皆様より応援のご寄附を頂きましたこと、誠にありがとうございました。試合は1回戦で敗れ、ご期待に添えず残念に思います。皆様からの温かいご声援に感謝致します。

榎殿会員 北クラブの皆様、残暑お見舞い申し上げます。

当日計 29,000円(内、web13,000円) 累計 290,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

卓話時間

『公式訪問に際して』

国際ロータリー第2710地区  
ガバナー 金子 克也 氏



私は、本年度当地区ガバナーの金子克也でございます。所属は福山南RCです。本日は、当クラブの皆様様に温かくお迎え頂きまして、心から感謝申し上げます。私は、この1年間、皆さまと共にロータリーに邁進いたしますので、ご支援・ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。まず、RI会長のテーマと強調事項についてご説明いたします。

さて、地区で国際ロータリーの唯一の役員であるガバナーには、公式訪問の際に行うべき義務事項があります。その一つがRI会長の掲げられたRIテーマおよび会長の強調事項の伝達とその解説です。

◆2014-15年度 RIテーマ

“LIGHT UP ROTARY” 「ロータリーに輝きを」  
ゲイリー・ホアンRI会長強調事項

1. クラブの強化とロータリーの認知度向上
2. 会員数130万人の達成(ロータリーデーの開催)
3. ポリオの撲滅

◆RI会長の戦略的優先項目

1. クラブサポートの強化・会員増強
2. 人道的奉仕
3. 公共イメージの向上

34,000を超えるクラブが、これら3つの戦略的優先項目を、世界の各地域で達成し、ロータリーを輝けるものにしましょ。

以上の、RIテーマおよびRI会長強調事項、戦略的優先項目を受けまして、以下の地区信条を決めました。

『2710地区ガバナーの信条、重点方針、目標』

◆ガバナー信条

「奉仕(Service)を学び、ロータリーを楽しもう」

◆重点方針

1. 職業奉仕の学習と実践(真のロータリアンの育成)
2. 会員増強(各クラブ純増1名以上、純増達成地区)
3. 積極的な奉仕活動
4. 学び楽しむ地区大会(国際奉仕の時間を作る)
5. 東日本大震災被災地への継続支援
6. 楽しいロータリーライフ(ロータリーデーへの参加・協力)

◆目標

1. 会員増強(純増1名) SAKUJI作戦の最終年度
2. RI会長賞へのチャレンジ  
三つの部門(会員増強、積極的奉仕活動、ロータリーの公共イメージ向上・ロータリーデー)
3. ロータリー財団支援
 

①ポリオ・プラスへの支援	15ドル/人以上
②年次基金	150ドル/人以上
③恒久基金 ベネファクター	1人/クラブ以上
④ロータリーカードへの協力	各クラブ担当者の決定
4. 米山記念奨学会支援 16,000円/人以上
5. RI人頭分担当 54ドル/人
6. 地区関係負担金 25,700円/人

『ロータリーデー』

RI会長の強調事項に掲げられている“ロータリーデー”とは、地域の人々に楽しみながらロータリーのことを理解してもらい、入会への関心を高めて頂くような催しをしましょということ。

○催しは

- (1) 参加型の奉仕活動を開催し、地域の人と一緒に奉仕活動をしましょ
- (2) 屋外でのピクニック、バーベキュー大会、スポーツ行事、コンサート
- (3) 地元のお祭りやイベントに併せた催し
- (4) チケット制のレセプションや夕食会など

なんでもありです

全世界で34,000を超えるクラブが、ロータリーでの楽しく、貴重な経験をそれぞれ地域社会の人々と分かち合えば、世界全体では、大きなインパクトになるでしょう。当然、ロータリーの認知度も上がり、会員は増加し、クラブ強化も可能でしょう。

開かれたロータリーを掲げ、皆さまの地域で、独自の“ロータリーデー”を開催し、成果を挙げられることを願っています。



『職業奉仕』

次は、地区重点方針を補足説明します。各クラブには、今年度特にこの職業奉仕に重点を置いたプログラムを立て、実行して下さいようお願いいたします。

ロータリークラブ定款第5条の2には、事業および専門職務の道徳的水準を高め、とあります。本年度は、“職業奉仕”の学習による人作り、クラブ作りを願っています。職業奉仕なる言葉は、他の団体にはみられない、ロータリーの先輩たちが作ったロータリー独自の言葉です。これは、1927年職業奉仕が社会奉仕、国際奉仕と分かれたときに出来た言葉で、職業を通じて役に立ちましょうという考えです。職業奉仕の主たる対象者が比較的狭い範囲の個人であるのに対し、社会・国際奉仕の対象者は日本国内、外国での広い地域に住む人々であります。国際奉仕は、世界の平和を目的にしています。

生活の糧を得る職業を通じて社会に、より役立つようにするにはどうしたらよいのか？ 具体策を考えましょう。

これにはまず第一に、職業奉仕を真剣に学習する場をクラブ内に作り、しっかり学習し、自分なりに職業奉仕を説明できるようになりましょう。

第2段階は、実例を見聞することです。例えば、“経営者会議あるいは座談会”などを開き、“Ideal of service”を適用しながら、職業の倫理を高めるにはどうしたらよいのか？ 皆で職場の悩み、成功例などを腹を割って話し合ひましょう。必ず他の職場からの役に立つ事例がありましょう。

私の例を挙げて恐縮ですが、職務を規定する文言の中に、“利益を目的としてはいけない”とありました。私は、これを誤解して、仕事をしながら利益が上がることに、少し後ろめたい気分がしていました。あるロータリーの研修会で、高名な講師の方が、ロータリーでは、利益を禁じてはいません。

むしろ“Ideal of service”の適用により、どんどん儲けて下さいとおっしゃいました。この一言で、長年の後ろめたい気分は吹っ飛びました。そうですね。よかれと思って行うことに、躊躇は、不要ですよ。

“One profits most who serves best”

私は、これを錦の御旗に、日々の職務では、次のことを重視しています。

1. 職務に関連する法規等の順守
2. 職務の現代的レベルの把握と維持に努める
3. 新情報の伝達
4. 無料での健康相談、講話
5. 対象者に、いささかの不利益となる行為も、絶対に意図的にはしない誓いの順守
6. 公表通りの執務日、時間の順守

この他にも、各職場からたくさんのよい事例が発表されるでしょう。また、自分と同じ心配事を抱えておられる人も見つかりましょう。仲間から、励ましの言葉やアドバイスもいただきましょう。今日の集いでこんないいことがあった。あの人も同じ悩みを持っていたなど、いろいろな話題も出ることでしょう。

さらには第3段階、自分の職業での実践に進みましょう。

こうして得られたよい方策を長年実行し続ければ、必ず顧客満足を得られ、自己の盛業に繋がると思います。これを長年行う人とそうでない人との間には大きな差が出てきます。ロータリアンの皆さまは、ぜひロータリーのこの優れた機能を育て、利用して下さい。自己の盛業が達成できれば、その喜びを持って、他者への奉仕、社会・国際奉仕に邁進する事ができ、日本経済・世界経済への貢献にも繋がるものと考えます。

ここまで、RI会長のスローガンとそれに続くガバナー方針の補足説明を行いました。さらに会員の意欲を高めることも、ガバナーに課せられた任務の一つです。

『リーダーシップ』

最近リーダーシップという言葉をよく耳にするようになりました。ここで、リーダーシップについて考えてみましょう。

1910年以来、RI理事会、RI国際大会、RI規定審議会の決定事項のうち、現在も有効とされているものを集めたものに、ロータリー章典があります。その中には、ロータリークラブが、インターアクト、ロータリーアクト、ロータリー指導者養成プログラムに、具体的な支援と指導を行うよう推奨されています。

インターアクトクラブは、学校や地域社会での課題に取り組むために結成する12-18歳の青少年のためのクラブです。

ロータリーアクトクラブは、18-30歳の大学生および若い成人のためのクラブです。

そして、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、クラブ、地区、多地区合同で組織されるリーダーシップ養成プログラムです。これらには皆、リーダーシップの育成が求められています。

一方、国際ロータリーでは、創設百周年を経過したところから、リーダーシップが盛んに言われるようになりました。

ロータリーの先進国では、会員数が減少に転じ、途上国の会員増加で、辛うじて会員数を維持していることから、危機感を覚えました。RIは2004年以降長期計画を提唱し、CLP、DLP、長期計画などには、リーダーシップなる言葉が入ってきました。

本年度サンディエゴで開催された国際協議会会場入り口には、“Enter to learn, go forth to serve”のスローガンに代わり、“Join leaders, exchange ideas, actual action”のスローガンに替わっていました。

私なりに、リーダーシップについて考えてみました。リーダーシップの語源はリーダーであります。リーダーの条件は、話すこと、書くこと、学ぶこと、法令を順守すること、行動すること、危機管理能力を備え説得力を持つことなどであると思います。

話すことは、ゆっくり、はっきり、会場の大きさを考えて、自分の声を、自分の耳で確かめながら話して下さい。世界で活躍するためには、外国語も必要になります。

書くことは、自分の考えていることを、たくさんの人に伝える手段として必要です。話していることを、そのまま文章にすればよいわけですから、パソコンのワード、オアシスなどで、練習すれば可能だと思います。以上のスキルをマスターし、説得力を身につけましょう。

学ぶことは、非常に大切です。総てのことに興味を持ち、挑戦しましょう。何事も経験すれば、身につくものだと思います。

法令順守は、指導者にとりまして、最重要課題だと思います。世の中での評価が高くなるほど、失敗は広く報道されます。

行動することは、これから生きていく中で、常に考える必要があります。失敗を恐れなくて挑戦することです。部下が失敗しても、咎めないことも肝要です。ただ、注意しなければならないことは、乗るか反るかの冒険は避けるべきです。倒産も避けるべきです。これらの内で特に重要な事は、危機管理能力です。リーダーたるもの、権限が大きくなればなるほど、危機に対する対応策を事前に考慮し、準備しておかなければなりません。

我が国には、おもてなし、ゆずりあい、たすけあいという古来からの美德と、高い技術力があります。これらによって、若い人達が世界に貢献する時代が必ず到来するものと確信しています。

クラブの例会では、若い会員のスピーチする機会を多くしましょう。

若い会員には、出来るだけあらゆる事に挑戦して下さいようお願いいたします。クラブも会員個人も、リーダーシップの育成に努めましょう。

以上、RI会長のお願いと、それに沿った地区ガバナーのお願いを述べてまいりました。個人の連携の上に成り立つ組織は全て、個人の強化即組織の強化に繋がります。

『結び』

RIは、ロータリークラブから成り、そしてクラブは会員から成り立っています。ロータリークラブの評価は、どんなロータリアンを育てたかによって



## クラブ運営方針：ロータリー・ムーブメントに ー新たな光りを！

決まると言われています。

ロータリーは人生道場とも言われています。個人強化、人間作りの場です。一人一人がロータリー的・情・意(叡智、厚い情、強い意志)を体得し、真のロータリアンを目指しましょう。そういう人達の集まりは、友愛の精神に満ち、和して同せずの意識の強いクラブになりましょう。そのようなロータリアンやクラブは、思わず近づきたくなるような、温かみのある輝きを放つでしょう。

人は一人では生きていけません。他の人がいるから生きていけるのです。地域には、助けを必要とする人が大勢います。改善すべき事もたくさんあります。自分には到底何も出来ないと、座して静観していても、なにも変わりません。

人は全てのことは出来ないが、何かをする事ができます。身の回りにある自分の出来ることから行動を起こしましょう。あなたの内なる情熱に火をつけましょう。

一つ一つの灯火は繋がって線となり、一塊となり、やがて大きな炎となるでしょう。

これまでの研修で得た多くの知識・経験に加え、大勢の仲間の協力を得て、全員が一致団結し、嬉々として奉仕(service)の実践に邁進すれば、ロータリーを煌々と輝かせる事も可能です。

地区とクラブが協力し、価値ある楽しいロータリーライフの一年に致しましょう。頑張ってください。



### 公式訪問フォーラム

参加者:金子ガバナー、藪田随行幹事、高原AG、栗屋AG幹事  
会員43名 合計47名

#### フォーラム議題

- ①「東日本大震災から3年が経過しての被災者支援事業」について
- ②「青少年奉仕事業の在り方」について
- ③「ロータリー情報委員会のアンケート分析結果」について
- ④「広島安佐南区・安佐北区土砂災害支援」について

各議題において出席者からの意見をご紹介します。

- ①「東日本大震災から3年が経過しての被災者支援事業」について
  - 3年が経過し、今必要な支援事業は何かを正確に探り(アスチカと情報交換を行い)、本当に必要な被災者支援を行いたい。被災地に行く事は決定している。
  - 社会奉仕委員会として、どの様な事業を行うにも経費面で、クラブ単独では事業の内容が小さなものになってしまうので、グローバル補助金を活用できる方法を探っている。

#### ②「青少年奉仕事業の在り方」について

- 青少年奉仕については、位置付けが不明瞭と思われる。当クラブとしてはどのような位置付けにおいて活動していくのか討

議していきたい。

- 青少年による無残な事件が多発している。この影の部分を防防するためにはどうするか、クラブとしての取り組みも考えるべきではないか。
- ③「ロータリー情報委員会のアンケート分析結果」について
  - 分析結果発表に先立ち、ロータリー情報委員会として、新会員の育成、会員増強等、今年1年間何が出来るのか、提案が出来るのかという思いで実施に至った経緯が説明された。
  - ④「広島安佐南区・安佐北区土砂災害支援」について
    - 昨日夕刻、当災害対策について協議を行った。地区としての取組を早急に取りまとめるが、地元クラブとして、特に討議を行っていただきたい。(金子ガバナー)
    - 災害地区近隣の安佐市民病院、文教女子大はかろうじて無事であったが、現場は甚大な被害を受けている。
    - 八木に店舗があり、多少の被害を受けた。今現在情報収集を行っている。
    - 社会奉仕委員会でリーダーシップ取り、クラブとして支援を行いたい。
    - 近隣から情報収集を行い、クラブに伝えたい。
    - 情報収集の取りまとめを行った上で、臨時役員会を開くようお願いしたい。
    - この場に不在のクラブメンバーに情報収集の要望を上げていただきたい。
    - 今現在必要な物は、土嚢、軽量シャベル、ミネラルウォーター、塩、小型ユンボ、マスク、簡易風呂(シャワー)という情報が既に寄せられている。今現在、災害場所においてロータリーの存在感が無い。ロータリーのテント等設置しすぐにでも活動を行って欲しい。広報の一環にもなる。

様々な意見が出され、金子ガバナーからもアドバイスを頂いたが、広島で起こった今回の土砂災害については引き続き、情報収集と早い段階でクラブの活動の方針を決めることとなった。



ご参加頂きました皆様、ありがとうございました！

#### ■出席報告 出席委員会

2014年8月21日(木) 会員数 85名  
出席 71名 欠席 14名 来賓 2名  
7月26日例会出席率 100%  
7月度平均出席率 100%

#### ■来客紹介 ローリー-家族親睦委員会

金子 克也 様 (RID2710 ガバナー)  
藪田 祐一 様 (RID2710 副代表幹事)  
高原 宏之 様 (RID2710 G6AG) ※広島北RC会員  
栗屋 充博 様 (G6AG幹事) ※広島北RC会員